

「ステップB 解決する課題を特定し、取組、指標を具体化する」では何をするのか？

- 次のステップB 解決する課題を特定し、取組、指標を具体化する、4つのステップからなります。
- ステップA で整理した解決しなければいけない課題のうち、特に重点的に取り組む課題を特定・合意します。そして、解決のための取組を具体化するとともに、PDCAサイクルを回すために必要な指標を特定します。
- また、課題、取組、指標の関係をロジックツリーで整理して、取組の進捗状況や効果との関係が見える化します。

ステップB 解決する課題を特定し、指標を具体化する

実現ステップ

解決する課題を特定し、
取組、指標を具体化する

ステップB

ステップ5 重点課題を特定し、合意を形成する

- ✓ ステップ4で作成した「課題リスト」から、実際に対応していくべき重要性の高い課題を特定し、関係者間で合意形成を行います。

ステップ6 重点課題を解決する取組を検討し、共有する

- ✓ 重点課題ごとに解決のための取組を検討し、利害関係者それぞれのアクションを決めます。各取組を実行するリソース（予算、人員、時間等）も整理し、ワーキンググループで共有します。

ステップ7 重点課題と解決する取組を踏まえ、指標を検討する

- ✓ 特定した重点課題とそれを解決する取組を踏まえ、指標の候補リストを作成します。
- ✓ 専門家による指標開発チームの協力の下、「指標」と「課題・取組」との相互関係を整理し、実際に活用する指標を選択します。

ステップ8 指標を特定し、計測手法を具体化する

- ✓ これまでのステップで整理された指標候補が計測・評価に使えるものであるか、評価します。
- ✓ 候補指標に直結するデータ、あるいは指標の作成・加工の基になるデータの所在、周期、時系列の動き（過去の変動幅）などを確認・整理します。
- ✓ その上で、データを加工して指標を作成する計測手法を整理します。